

つきたい力

自ら考え、情報を活用し、適切に伝えることができる力
(思考力・判断力・表現力)

取組みの概要・ポイント

- ①全教科における学校図書館活用による情報活用能力・論理的思考力を高める授業づくり
- ②学校全体で取り組む、生徒が引き付けられる学校図書館・居心地のよい学び場づくり

①具体的な取組みの内容 学校図書館を活用した授業づくり

調べ学習から問いづくり・探究学習へ

先進校と連携し、探究学習カリキュラムや心構えに関する校内研修を開催。情報ピースづくりからプロジェクト学習まで、本とインターネット、フィールドワークを活用しながら進めている。道徳や特活でも新たな授業にチャレンジし、指導方法の引き出しが増えてきた。



「読みたい」「書きたい」「伝えたい」につながる課題設定

論理的思考力を鍛えるトレーニングや情報活用リテラシーの育成と並行して、読む喜び・書く喜びを生徒が体感し、意欲の向上につながる取組みも行っている。

恒例となった全学年で実施するビブリオバトルは、生徒が主体的に取り組める活動の一つである。



生徒作品の展示・蓄積で醸成される学校文化づくり

昨年度から生徒の成果物を学校で所蔵している。優秀作品については外部のコンクールへ出品している。生徒にとって初めての学習課題も、先輩の優秀作品に触れ、よりよい取組みが期待できる。未来の後輩へつなぐバトンとして、また教員の授業づくりへのヒントとして続けていきたい。



②具体的な取組みの内容 本に親しむ場づくり

開かれた学校図書館

本市では学校司書が全校配置されており、本校においては常時開館ができています。今年度は分類別で見ても幅広い貸し出しがあり、授業での活用の効果が表れている。また、学校図書館企画で貸し出し冊数に応じてブックカバー等の特典配付を行う定期的なキャンペーンも毎回盛り上がり、生徒の関心を集めている。



学習委員会活動

本好きな生徒がリーダーとして委員会活動を活性化しており、リクエストや委員の選書による学級図書購入、古本市開催、限られた字数（54字・200字）で超短編小説を創作する「YOUも文豪」を開催するなど、季節ごとに取組みを行っている。生徒発案の企画もあり、教員や保護者も巻き込んで学校文化づくりの一助となっている。



興味を広げる・学びを深める掲示物

掲示物を意図的に多くすることで、いつでもレベルの高い作品に触れられ、仲間の活躍を認め合える環境づくりをめざしている。壁一面に広がる感性をくすぐる新着図書や新聞記事の紹介、教室のそばに常設する学習内容関連コーナーは生徒も毎回楽しみにしており、立ち止まって語らう場となっている。



取組みを通しての子どもの変容

学校図書館活用に関する生徒アンケート結果（R5年度当初現状値→R5.12月現在）では、単元や課題により生徒の反応は様々だが、学校図書館を活用した授業や読書推進活動への肯定的回答が見られる。①本やインターネットなどで調べたことをもとに、自分の考えをまとめて書いたり、話したりしている（71%→76%）②学校図書館での学習や、本や資料を使って調べる学習は楽しい（62%→66%）

また、R5全国学力・学習状況調査では、学校図書館や地域の図書館に行く頻度、読書が好きな生徒、ともに大阪府・全国平均を上回る結果となった。今後も生徒の興味・関心・必要に応じて、資料を提供できる学校図書館づくりを進めていく。

